

特定非営利活動法人ともに
令和2年度通常総会

日時 令和2年5月22日（金）

場所 （書面開催）

議案審議

- 第1号議案 令和元年度事業活動報告に関する件
- 第2号議案 令和元年度会計決算・監査報告に関する件
- 第3号議案 令和2年度事業活動計画（案）に関する件
- 第4号議案 令和2年度予算（案）に関する件
- 第5号議案 各種規程の制定・改定に関する件
- 第6号議案 その他

<法人及び各事業所の理念>

1、特定非営利活動法人ともに 法人理念

～ 自立を友に あなたと共に ～

私たちは、誰もが安心して生活できる社会を目指し、個性豊かな人のつながりを大切にしたい地域づくりに貢献します。

2、障がい者就労支援事業所ワークショップようてい 経営理念

私たちは、
一人一人の心の中にある、勇気の種、寛容の種、自信の種が
個性豊かに育っていくことをサポートします

- 経営姿勢：トライ＆エラー
- 行動指針 ①ともに学びともに成長する
②自己選択・自己決定・自己発信
③自信と自尊心の回復を目指す
④対話する力を身につける
⑤経験という実績を積み重ねる

3、グループホームよろこび 経営理念

私たちは、
障がいにより地域で生活してゆくの困難な人たちの伴走者となり、
寄り添いながらともに成長していきます

- 行動目標
①その人の過去から学び、今を見つめ
希望を持った未来へ繋がる支援を行います。
②「独り」になってはいないか・・・と、
思いやりと余裕の心で支援を行います。

第1号議案 令和元年度事業活動報告に関する件

令和元年度事業活動報告

1 活動の成果と課題

平成30年度は報酬単価の実質的低下および利用者減により厳しい経営であったが、元年度は就労支援事業所、グループホームともに改善の傾向が見られた。活動内容では「わっくわくまつり」「ソーシャルフットボールともにカップ」「ともに講演会」などを企画した。わっくわくまつりにおける高校生ボランティアの多数参加など、あらたな広がりを見せている。

法人での情報共有が不足していることにより、他機関との連携や企画の周知が至らない部分があった。今後の事業を広げる意味で次年度への課題である。

今年に入って新型コロナウイルス感染症の拡大防止として各事業で対策をおこなっている。今後対策と運営維持のバランスを保っていくためにさらなる対策が必要となっている。

2 事業

- (1) 障がい者就労支援事業所ワークショップようていの運営 【個別事業報告1】参照
 (2) グループホームよろこびの運営 【個別事業報告2】参照
 (3) K.S.C. Juntos の運営 【個別事業報告3】参照

3 活動

(1) 精神疾患や障害に関する理解と交流、広報活動

＜講演会・研修会＞

活動内容	実施回数および実施月日	実施場所	のべ参加人数
みんなで学ぼうシリーズ	月1回(全12回)	喫茶陽だまり	152人
	<ul style="list-style-type: none"> 講師は倶知安厚生病院の医師7回、ソーシャルワーカーが2回、作業療法士が1回、複数講師の座談会形式を2回開催 1回あたりの平均参加者数は12.6人 		
たね塾	5月～11月の月1回(全7回)	わっくわく	85人
	<ul style="list-style-type: none"> 定員15人のところ申込者は16人、一回の平均参加者数は12.1人 		
くらっぴ [倶知安 WRAP (元気回復行動プラン) 勉強会]	偶数月第4水曜日(全6回)	倶知安厚生病院	13人
	<ul style="list-style-type: none"> 1回あたりの参加者数は2～3人 		
ともに講演会 「高齢ドライバー問題から生活環境を考える」	11月23日	ホテル第一会館	18人
	<ul style="list-style-type: none"> 町広報折り込み、インターネット等で告知するも18人の参加にとどまる その一方交通安全協会など新たなネットワークを構築できた 		
こころのルネッサンス&キャンプ(小樽市)	8月31日～9月1日	小樽自然の村	97人
	<ul style="list-style-type: none"> NPO法人MiMaTa主催、当法人は後援 		

<広報活動>

活動内容	実施回数	特記事項
広報紙「通信ともに」発行	全 10 回	・毎月発行を目指していたが、発行は10回にとどまった。 ・家族会解散やSNSでデータ配布により、1回の発行部数は400部→300部に削減した。
ホームページ更新	不定期	・主にデータの修正
ブログ更新	不定期	・年度後半は更新が滞ることがあった
SNS活用検討	実績なし	・検討したが実現できていない
記事の掲載依頼促進	2回	・北海道新聞後志版に「ともに講演会」お知らせ記事 ・紀行雑誌「じゃらん」3月号にカフェの記事

(2) 地域内外の福祉関係団体との連携活動

団体名	形態	活動内容
羊蹄山ろく地域自立支援協議会	参加	・毎月の定例会に参加 ○相談支援事業担当者会議 ○就労支援部会 ○地域活動支援センター「夢の匠」サポート部会 ○知ってる会?
羊蹄山麓障害支援区分認定審査会	推薦	・羊蹄山ろく地区の障がい者支援区分審査
後志圏地域生活移行支援協議会	委嘱	・ピアサポーターに関する会議
倶知安町福祉フォーラム	参加	・映画「長いお別れ」上映→感染予防のため中止
後志圏障がい者が暮らしやすい地域づくり委員会	委嘱	
後志保険医療福祉圏域連携推進会議	委嘱	
倶知安町障害者施策推進協議会	推薦	
一般社団法人北海道精神保健福祉士会	理事	

(3) 講師派遣活動

派遣先	月日	派遣場所および内容
北海道文教大学	6月7日	北海道文教大学「地域作業療法学演習」
京極町社会福祉協議会	7月24日	京極町福祉センター「法人内研修 個人情報について」

(4) 組織の安定化、拡充活動

正会員	21人(+1人)
賛助会員	個人83人(-8人)、団体6団体(+3団体)

(5) 助成金の活用

助成団体	金額	利用用途
軽減税率対策補助金事務局	28,276円	消費税増税に伴うレジスター購入助成

(6) 認定NPO法人活動 ・控除対象寄付金受領証明書の発行…個人7人、団体4団体

(7) わっくわく地域開放 ・実績なし

(8) 借入金返済について ・計画通り借入金返済をおこなっている

【個別事業報告1】

令和元年度

障がい者就労支援事業所ワークショップようてい（WS） 事業活動報告

1 活動の成果と課題

平成30年度に減少した利用登録者数は大幅に回復し、訓練等給付費収入は改善している。

就労移行支援では4人就職でき、就労継続支援B型でも平均工賃月額が1万円を超えたことで、工賃額で決まる次年度の給付費増額が可能になった。

支援面では、利用者に対し定期的なモニタリングや毎朝の職員ミーティングで情報共有に努め、その人に合った支援をおこなうことで支援の方向性が確立してきた。一方で事業所間や外部との情報共有についてはまだ改善の必要性がある。

新型コロナウイルス感染症の流行拡大防止対策として職員間の協議を密におこない、消毒の徹底と予防の方針を確認している。

2 令和元年度利用実績（カッコ内は前年度比）

	就労移行支援	就労継続支援B型
年開所日数	263日	263日
年のべ利用者数	709人（+327人）	3,393人（+289人）
一日平均利用者数	2.7人（+1.3人）	12.9人（+1.4人）
3月末時点の利用登録者	2人	23人
新規登録者	3人	8人
退所者	4人〔うち就職4人〕	2人〔就職者なし〕

3 令和元年度就労支援事業会計決算

収入の部			
科目	合計	前年度比	解説
売上（カフェ）	1,426,790	+216,230	
売上（調理部その他）	1,563,744	+61,236	WS利用者向け昼食、イベントほか
売上（製造部）	668,230	-255,370	手工芸品売上
売上（農業部）	329,665	+10,021	野菜販売売上
施設外作業収入	36,286	+36,286	利用者が事業所外作業したときの収入
委託料	1,814,583	-36,813	調理、除雪、清掃、施設管理など
宅配便送料	20,009	-7,260	
補助金	28,276	+28,276	調理部レジスター購入補助金
その他収益	17,611	+5,460	受取利息、石けん売上ほか
収入計	5,905,194	+58,086	

支出の部			
科目	合計	前年度比	解説
原価材料費	1,947,355	+225,168	手工芸材料、農作物種子など
消耗品費	510,061	-105,358	
研修費・開発費	46,940	-16,060	各部商品開発研修、商品開発
設備備品費	80,817	-435,058	作業用テーブル、農具、除雪器具ほか
水光熱費	126,327	+8,247	調理部、カフェ
車両費	175,885	-42,315	トラクター、タイヤショベル維持管理
その他経費	98,651	-12,074	各種手数料、宅配便送料など
利用者工賃・賞与	3,476,780	+963,020	
支出計	6,462,816	+747,142	

収支差額	-557,622
前期繰越正味財産額	1,386,350
当期正味財産合計	828,728

4 利用者への工賃支払状況について

○工賃平均月額…11,794 円（前年度比 +3,373 円）

○工賃平均時給額…302.9 円（前年度比 +73.9 円）

	計	前年度比
工賃総支給額	2,712,526 円	+1,171,426 円
のべ支給利用者数	230 人	+47 人
のべ作業時間数	8,954 時間	+2,232 時間

5 事業活動およびその件数

内容	件数	解説
①就労のための研修	13 件	利用者向けに「就労支援トレーニングプログラム」を実施
②就職活動 ・ 職場実習 ・ 職場見学	3 件 5 件	
③販売活動 ・ 委託販売 ・ 各町村祭り出店	4 件 1 件	木ニセコ、元気ショップ、元気ショップいこ～る、 コープさっぽろ倶知安店 倶知安 1 回、京極 2 回
④利用者研修	3 件	見学研修など
⑤交流・レクリエーション	3 件	花見会、ウォーキング、納会
⑥地域活動	1 件	赤い羽根街頭募金、
⑦事業所見学件数	1 件	羊蹄セルブ
⑧職員資質向上研修	4 件	所内研修
⑨防災対策	2 件	防災訓練（地震・洪水）、火災訓練各 1 件

【個別事業報告2】

令和元年度 グループホームよろこび（GH） 事業活動報告

1 活動の成果と課題

元年度は新規入居者が3人増え合計 22 人と満室になった。訓練等給付費が増加し経営安定に貢献することができた。一方で職員不足により職員に希望通りのシフトを組むことが難しい時期があった。またグループホームを離れて一人暮らしが可能な入居者が家賃の高騰といった経済的理由によりグループホームを「卒業」することができていない現状の難しさがあった。

職員間や事業者間での情報の共有が十分でなく、支援の一貫性に欠けることもあった。今後情報共有の機会を作る努力と、より意見を交わせる機会を意識的に増やす取り組みが必要である。

今年1月以降の新型コロナウイルス感染症に対し、厚労省の指針に基づき面会制限や「三密」の防止、消毒対策などの努力を続けている。

2 令和元年度利用実績（カッコ内は前年度比）

年開所日数	366日
年のべ利用者数	7,382人(+607人)
3月末時点の利用登録者	22人
新規登録者	3人
退居者	0人
見学者	1人

入居者の利用区分 (3月末現在)	
非該当	2人
区分1	9人
区分2	9人
区分3	2人
区分4	0人
区分5	0人
区分6	0人

3 事業活動

月日	活動種別	活動内容
4月20日 10月22日	行事	買い物レクリエーション
6月13・16日	防災対策	防災訓練(5住居を2日に分けて実施)
7月4日	行事	GH, WS合同焼肉交流会
9月7日	行事	わっくわくまつり出店
11月21日	防災対策	火災訓練

4 入居者利用料の収支報告および清算について

- 入居者から徴収している利用料の収支報告および清算がこれまでできていなかったことから、札幌や道外グループホームの情報収集と税理士の助言を受け、毎年の清算を徹底することにした。
- グループホーム会計に「利用料会計」を新設し、グループホーム会計から分離した
- 返済方法と返済額は次年度の課題である

【個別事業報告3】

令和元年度 K.S.C. Juntos 事業活動報告

1 活動の成果と課題

元年度は「ソーシャルフットボールともにカップ」を初めて京極町で開催し、羊蹄山ろくで当活動の認識を広めるきっかけとなった。また2人の選手が、大阪市でおこなわれた「第3回ソーシャルフットボール全国大会」の北海道代表チーム「リベルダージ北海道」の一員として参加した。道外のソーシャルフットボール熱を感じて帰ってきたことは、当チームにとっても大きな収穫であった。

今年1月以降流行している新型コロナウイルス感染の対策として、2月以降練習を中止した。道内の大会も相次ぎ中止され、選手のモチベーション低下が目下の課題である。また異動等により会員が減少しており、選手やサポートスタッフの拡充が急務である。

2 活動内容およびその件数

月日	活動内容	活動場所	参加人数
毎週火・金	公式練習・練習試合	旧東陵中学校体育館 倶知安町立西小学校	4～8人
5月18日	地域合同練習 in 滝川	滝川市ホーダスタジアム	6人
6月23日	ソーシャルフットボールチャンピオンズカップ	札幌東区体育館	8人
7月30日	選手・スタッフミーティング	わっくわく食堂	10人
9月6日	わっくわくまつり	わっくわく会場	4人
9月7・8日	第3回ソーシャルフットボール全国大会	丸善インテックスアリーナ大阪	2人
10月26日	第4回ソーシャルフットボールともにカップ	京極町体育館	7チーム 60人
12月21日	ソーシャルフットボールサポーターズカップ	札幌東区体育館	9人
3月21日	ソーシャルフットボールサポーターズカップ in 芽室	芽室町	(中止)

※わっくわくまつりではピン倒しゲームと募金を実施。2,397円集まった。

※新型コロナウイルスの感染拡大防止の一環として、2月25日以降の練習を中止した。

3 会員数（3月末現在）

当事者会員	13人
サポートスタッフ	18人
チームサポーター	2人
スポンサー会員	4人・団体

第2号議案 2019年度決算に関する件

特定非営利活動に係る事業会計活動計算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

認定特定非営利活動法人とともに

(単位：円)

勘定科目	金額	
I 経常収益		
1. 受取会費		433,500
2. 受取寄付金		1,328,277
3. 受取助成金等		2,200,000
4. 事業収益		
①自立支援費収益	80,968,411	
②就労支援事業収益	5,905,194	
③参加費・負担金収益	84,900	
事業収益計		86,958,505
5. その他収益		115,198
経常収益計		91,035,480
II 経常費用		
1. 事業費		
給与手当	50,766,355	
法定福利費	6,956,857	
福利厚生費	475,902	
業務委託費	1,504,830	
研修費	91,124	
旅費交通費	417,590	
会議費	12,230	
行事費	160,232	
交際費	5,600	
貸借料	3,973,000	
水光熱費	3,916,581	
消耗品費	945,314	
食材費	2,938,972	
通信費	551,342	
車両費	884,487	
設備備品修繕費	292,429	
保険料	520,420	
諸会費	28,600	
支払手数料	46,113	
就労支援事業費	6,462,816	
リース料	549,840	
租税公課	450	
支払利息	4,002	
雑費	0	
減価償却費	6,304,927	
事業費計		87,810,013
2. 管理費		
業務委託費	188,264	
研修費	51,000	
旅費交通費	97,550	
会議費	3,076	
行事費	336,428	
交際費	15,400	
貸借料	80,000	
消耗品費	317,568	
通信費	83,950	
諸会費	113,000	
支払手数料	9,467	
租税公課	21,900	
支払利息	102,521	
雑費	0	
管理費計		1,420,124
経常費用計		89,230,137
当期正味財産増加額		1,805,343
前期繰越正味財産額		51,138,930
次期繰越正味財産額		52,944,273

今年度「その他の事業」は予定ありません。

事業別活動計算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

認定特定非営利活動法人とともに

(単位:円)

勘定科目	WS		GH		K.S.C Juntos	本部	法人全体
	運営事業	就労支援事業	運営事業	利用料会計			
I 経常収益							
受取会費					109,500	324,000	433,500
受取寄付金	20,000				12,397	1,295,880	1,328,277
受取助成金等	2,200,000	0					2,200,000
事業収益・自立支援費	28,689,700	0	39,640,260	12,638,451	0	0	80,968,411
訓練等給付費	28,606,812		39,526,603				68,133,415
利用者1割負担金	82,558		104,497				187,055
室料助成金				2,415,823			2,415,823
利用者負担金室料				3,464,821			3,464,821
利用者負担金水光熱				3,754,207			3,754,207
利用者負担金食費				3,003,600			3,003,600
利用者実費負担金	330		9,160				9,490
事業収益・就労支援事業		5,905,194					5,905,194
事業収益・参加費負担金					25,000	59,900	84,900
その他収益	25,748		1,217		2	88,231	115,198
経常収益計	30,935,448	5,905,194	39,641,477	12,638,451	146,899	1,768,011	91,035,480
II 経常費用							
給与手当	23,661,017		27,105,338				50,766,355
法定福利費	3,336,718		3,620,139				6,956,857
福利厚生費	87,568		378,334		10,000		475,902
業務委託費	1,075,555		362,595	66,680		188,264	1,693,094
研修費	50,624		40,500			51,000	142,124
旅費交通費	262,270		155,320			97,550	515,140
会議費	12,230					3,076	15,306
行事費	65,444		10,947		83,841	336,428	496,660
交際費	5,600					15,400	21,000
貸借料	240,000			3,720,000	13,000	80,000	4,053,000
水光熱費	604,809		243,230	3,068,542			3,916,581
消耗品費	209,348		165,760	569,601	605	317,568	1,262,882
食材費				2,938,972			2,938,972
通信費	285,284		266,058			83,950	635,292
車両費	738,497		124,348		21,642		884,487
設備備品修繕費	109,560		165,640	17,229			292,429
保険料	246,600		167,730	80,490	25,600		520,420
諸会費	6,000		5,000	17,600		113,000	141,600
支払手数料	11,373		17,384	17,356		9,467	55,580
就労支援事業費		6,462,816					6,462,816
リース料	91,098		435,882	22,860			549,840
租税公課	450					21,900	22,350
支払利息	4,002					102,521	106,523
雑費							0
減価償却費	800,201		179,000	86,015		5,239,711	6,304,927
経常費用計	31,904,248	6,462,816	33,443,205	10,605,345	154,688	6,659,835	89,230,137
当期経常増減額	▲ 968,800	▲ 557,622	6,198,272	2,033,106	▲ 7,789	▲ 4,891,824	1,805,343
III 内部取引							
他部門振替収入 内部家賃						4,380,000	4,380,000
共通経費(給与・修繕積立金)	1,820,000						1,820,000
他部門振替支出 内部家賃	1,920,000		540,000	1,920,000			4,380,000
共通経費(給与・修繕積立金)			1,820,000				1,820,000
内部取引計	▲ 100,000	0	▲ 2,360,000	▲ 1,920,000	0	4,380,000	0
総支出額	32,004,248	6,462,816	35,803,205	12,525,345	154,688	2,279,835	89,230,137
当期正味財産増加額	▲ 1,068,800	▲ 557,622	3,838,272	113,106	▲ 7,789	▲ 511,824	1,805,343
前期繰越正味財産額	2,769,658	1,386,350	10,466,386		244,879	36,271,657	51,138,930
次期繰越財産額	1,700,858	828,728	14,304,658	113,106	237,090	35,759,833	52,944,273

特定非営利活動に係る事業会計 貸借対照表

令和2年3月31日 現在

認定特定非営利活動法人ともに

(単位：円)

資産の部			負債及び正味財産の部		
I 資産の部			II 負債の部		
1. 流動資産			1. 流動負債		
現金	1,089,252		未払金	3,523,735	
小口現金	25,000		前受金	394,000	
預金	8,400,862		預り金	720,247	
未収金	11,842,277		未払法人税等	20,000	
前払金	9,062		流動負債合計		4,657,982
前払費用	624,130		2. 固定負債		
流動資産合計		21,990,583	長期借入金	58,673,975	
2. 固定資産			固定負債合計		58,673,975
(1)有形固定資産			負債合計		63,331,957
土地	5,071,850		III 正味財産の部		
建物	109,785,776		前期繰越正味財産	51,138,930	
建物附属設備	1,432,000		当期正味財産増減額	1,805,343	
構築物	1,279,081		正味財産合計		52,944,273
車両運搬具	4,950,460				
什器 備品	4,364,717				
減価償却累計額	▲ 32,690,997				
(2)投資その他の資産					
敷金	80,000				
リサイクル預託金	12,760				
固定資産合計		94,285,647			
資産合計		116,276,230	負債及び正味財産合計		116,276,230

その他の事業会計 該当なし

【財務諸表の注記】

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法及び3年均等償却にて償却をしています。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

2. 固定資産の増減内訳

固定資産の増減は以下のとおりです。

(単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
土地	5,071,850	0	0	5,071,850		5,071,850
建物	109,785,776	0	0	109,785,776	25,250,725	84,535,051
建物附属設備	1,432,000	0	0	1,432,000	328,166	1,103,834
構築物	1,279,081	0	0	1,279,081	657,246	621,835
車両運搬具	1,980,000	2,970,460	0	4,950,460	2,639,441	2,311,019
什器 備品	3,840,917	523,800	0	4,364,717	3,815,419	549,298
敷金	80,000	0	0	80,000	0	80,000
リサイクル預託金	0	12,760	0	12,760	0	12,760
合計	123,469,624	3,507,020	0	126,976,644	32,690,997	94,285,647

3. 借入金の増減内訳

借入金の増減は以下のとおりです。

(単位：円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
長期借入金（役員）	1,000,000	3,600,000	1,600,000	3,000,000
長期借入金（個人）	58,167,026	0	2,968,051	55,198,975
長期借入金（金融公庫）	0	600,000	125,000	475,000
合計	59,167,026	4,200,000	4,693,051	58,673,975

4. 使途等が制約された寄付等の内訳

使途等が制約された寄付等の内訳は以下のとおりです。

(単位：円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
受取寄付金	1,200,000	2,200,000	3,400,000	0	講演会、設備費、公用車購入
合計	1,200,000	2,200,000	3,400,000	0	

特定非営利活動に係る事業会計 財産目録

令和2年 3月31日 現在

認定特定非営利活動法人ともに

(単位：円)

科目・摘要	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	手元現金・小口現金	1,114,252	
普通預金	北洋銀行俱知安支店（本部）	1,173,127	
	北洋銀行俱知安支店（WS）	463,220	
	北洋銀行俱知安支店（就労）	997,366	
	北洋銀行俱知安支店（GH）	5,258,087	
	北洋銀行俱知安支店（Juntos）	211,456	
	北洋銀行俱知安支店（修繕積立用）	200,000	
	ゆうちょ銀行	0	
	ゆうちょ銀行振替口座	91,899	
	北海道信用金庫俱知安支店（就労）	5,707	
	北海道労働金庫俱知安支店	0	
未収金	訓練等給付費等	11,744,710	
	売上金等	97,567	
前払金	農業用原材料費	9,062	
前払費用	家賃・火災保険料等	624,130	
流動資産計			21,990,583
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
土地		5,071,850	
建物		84,535,051	
建物付属設備	自動火災報知設備	1,103,834	
構築物	融雪槽地下水工事	621,835	
車両運搬具	送迎車ハイエース（償却済）・公用車ノア	2,311,019	
什器備品	暖房エアコン・IHクッキングヒーター・冷凍冷蔵庫・事務室エアコン	549,298	
(2) 投資その他の資産			
敷金	グループホーム住居	80,000	
リサイクル預託金		12,760	
固定資産計			94,285,647
資産合計			116,276,230
I 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	社会保険料	479,334	
	水光熱費・工賃・通所交通費他	3,044,401	
前受金	利用料他	394,000	
預り金	社会保険料等	720,247	
未払法人税等		20,000	
流動負債計			4,657,982
2. 固定負債			
長期借入金	役員・個人3人・金融公庫	58,673,975	
固定負債計			58,673,975
負債合計			63,331,957
正味財産			52,944,273

その他の事業会計 該当なし

監査報告書

特定非営利活動法人ともにの 2019年度事業・会計について監査したところ、
適正に行われておりましたのでご報告いたします。

令和2年 5月15日 監事 中山 誠 人



令和2年 5月15日 監事 阿部 優 子



第3号議案 令和2年度事業活動計画（案）に関する件

令和2年度事業活動計画（案）

1 基本方針

- 法人の経営基盤安定と体制づくりに注力する一年とする
- 障害福祉サービスは、新型コロナウイルス感染拡大防止の緊急事態宣言のもとでも支援の提供の継続性が求められている。時差出勤や作業の分散、住居内の工夫で感染対策を徹底し事業の継続を図る。
- 新型コロナウイルス感染症流行によりイベント開催だけでなく人が集まることの感染予防を考慮し、今年度大規模イベント開催は見送る。日常業務でも感染者が出ないよう予防に努める
- 職員・会員などと積極的に意見交換をし、より風通しの良い法人を構築する
- 会員数、寄付者数の目標値達成のため、具体的な戦略を練り実行する。

2 事業

- (1) 障がい者就労支援事業所ワークショップようてい の運営 【個別事業計画1】参照
- (2) グループホームよろこび の運営 【個別事業計画2】参照
- (3) K.S.C Juntos の運営 【個別事業計画3】参照

3 活動

(1) 精神疾患や障害に関する理解と交流、広報活動

<講演会・研修会・交流活動>

- みんなで学ぼうシリーズ…毎月第2水曜日の開催固定化
今年度も俱知安厚生病院への協力依頼をおこない、協力開催とする
- 地域の支援者のスキルアップ企画として「たね塾」を開講する
月1回（5月～11月）、全7回の予定
- 地域の支援者向けのWRAP「くらっぴ」を開催する…偶数月第4水曜日

<広報活動>

- 通信ともへの発行
障がい者情報の発信と法人活動の現状を伝えるため、年10回以上発行する
- インターネット媒体の充実
ブログ等の更新を継続するとともに、SNSの活用充実を検討する
- 他団体活動への参加を継続する

(2) 地域内外の福祉関係団体と連携する活動

- 羊蹄山ろく地域自立支援協議会 定例会に出席
 - ・ 相談支援事業担当者会議
 - ・ 地域活動支援センター夢の匠サポート部会
 - ・ 就労支援部会
 - ・ 知ってる会？
- 羊蹄山麓障害支援区分認定審査会（推薦）隔月

- 後志圏域地域生活移行支援協議会（委嘱）
- 「倶知安町福祉フォーラム」参加
- 後志圏域障がい者が暮らしやすい地域づくり委員会（委嘱）
- 後志保健医療福祉圏域連携推進会議（委嘱）
- 倶知安町障害者施策推進協議会（推薦）
- 一般社団法人 北海道精神保健福祉士協会 理事
- 一般社団法人 北海道中小企業家同友会 しりべし・小樽支部 会員

(3) 講師派遣活動

- 法人理念に照らし検討の上積極的に協力する

(4) 組織の運営安定化、拡充活動

- 会員・寄付者を増員させるため、人的、経済的協力を広く集めるための活動をする
- 正会員 25 人、賛助会員は 10 団体、個人 100 人を旨す
- 寄付金の目標人数を 30 人以上、金額を 150 万円以上とする

(5) 助成金活用

- 助成事業の情報収集を継続し、身の丈に合った活用に努める。

(6) 認定NPO法人活動

- 寄付額に目標を定め、税金還付の利点を活かして寄付金獲得に努める

(7) 「わっくわく」地域開放の取組み

- ハード面の地域開放に加え、ボランティア受け入れなどソフト面での地域開放を目指す
- 来年度以降の実行に向け、検討を重ね整備をすすめる

(8) 借入金返済について

- 法人の黒字化をめざし計画どおりの返済を行う

(9) 職員の働く意欲向上について

- キャリアパス制度の研修制度および評価制度を再構築し、制度の充実を図る
- 福利厚生を予算化し、働く環境の整備をめざす
- 職員が「自分もここを利用したい」と思えるような各事業をすすめる

(10) 防災対策について

- 新型コロナウイルス感染症も一種の「災害」ととらえ、予防対策を徹底する
- 火災訓練を年 1 回実施するのに加え、各事業所で防災教育をおこなう
- 地震、洪水を想定した防災訓練を年 1 回以上事業所ごとに実施する

【個別事業計画 1】

令和2年度

障がい者就労支援事業所 ワークショップようてい（WS） 事業活動計画（案）

1 基本方針

- 事業所の体力に合った事業計画にのっとり、充実した支援を図る
- 各職員の役割を明確にし、責任とやりがいを持つことができる事業所を目指す

2 就労移行支援のサービス提供について

- 積極的な一般就労を目指す支援をおこない、今年度も就職へ向けた支援をおこなう
- 実践的なトレーニングプログラムを継続する
履歴書添削、ハローワーク同行、トレーニングプログラム研修の実施ほか

3 就労継続支援B型のサービス提供について

- 他機関に働きかけ、新規継続支援B型利用者の増加を図る
- 利用者の目標工賃平均月額 1 万円以上、時給額 300 円以上を維持する

4 事業運営の安定化について

- 利用者数の維持および利用日数の増加をめざす
- 事務局と連携し、事業の広報活動をすすめる

5 非常災害・防災対策について

- コロナウイルス感染症もひとつの「災害」としてとらえ、ふだんからの対策とともに、感染者が出た際の対応についてマニュアル化する
- 地震および洪水を想定した防災訓練、住居ごとの火災訓練を各 1 回ずつ実施する
- 防災設備の操作を周知徹底する

6 職員の資質向上について

- 年間計画に沿って研修をおこない、支援技術の研鑽につとめる

7 その他

- 就労定着支援事業化のための具体的計画を立てる

【個別事業計画 2】

令和2年度 グループホームよろこび（GH） 事業活動計画（案）

1 基本方針

- 当事業所の理念のもと、入居者の自立支援を継続する
- 職員体制を見直し、各職員の役割を明確にして責任とやりがいを持てる運営をすすめる

2 サービスの提供について

- 職員による定期的な支援会議の定着をめざす
- 事業所外との情報共有をより密にし、一体となった支援活動をおこなう

3 事業運営の安定化について

- 法人事務局と連携し、人事・広報・会計における体制づくりをすすめる
- 地域の実情を考慮し、新居開拓は次年度以降に検討する

4 非常災害・防災対策について

- コロナウイルス感染症もひとつの「災害」としてとらえ、いざからの対策とともに、感染者が出た際の対応についてマニュアル化する
- 地震および洪水を想定した防災訓練、住居ごとの火災訓練を各1回ずつ実施する
- 防災設備の操作を周知徹底する

5 職員の資質向上について

- 積極的に所内研修を実施することで支援力向上をめざす
- 外部事業所の見学研修を検討する

6 入居者利用料の収支報告および清算について

- 返済方法については個別に承諾を得て実施する
- 新たに「家電製品更新・修繕積立金」を設け、入居者に同意を得る

【個別事業計画 3】

令和2年度 K.S.C. Juntos 事業活動計画（案）

1 基本方針

- 登録選手がスポーツを通じて自分の生活を充実できることを目指す
- サポートスタッフの役割を明確にし、活動が持続できるような体制づくりをすすめる
- フットサルはじめスポーツをすることの楽しさ、やりがいを伝える

2 今年度の活動目標について

- コロナウイルス感染症の影響で大会および練習ができない状態であるが、その中でも一人でできる自主練習を各選手ができるよう個別対応をする
- 選手、サポートスタッフの増員するための活動をすすめる

3 活動計画（感染症の状況により延期、中止の場合あり）

日付	名称・内容	開催地（予定）
毎週火・金	定期練習（不定期で練習試合実施）	旧東陵中学校体育館
6月下旬	北海道チャンピオンズカップ	札幌市東区体育館
8月29日	名寄市チーム結成10周年記念大会（仮称）	名寄市
9月ごろ	第5回ソーシャルフットボールともにカップ	京極町体育館
12月下旬	ソーシャルフットボールサポーターズカップ	札幌市東区体育館

※その他遠征、練習試合など

第4号議案 令和2年度予算（案）に関する件

特定非営利活動に係る事業会計活動予算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

認定特定非営利活動法人とともに

(単位：円)

勘定科目	金額		
I 経常収益			
1. 受取会費		600,000	
2. 受取寄付金		1,530,000	
3. 受取助成金等		0	
4. 事業収益			
①自立支援費収益	85,964,000		
②就労支援事業収益	5,070,000		
③参加費・負担金収益	125,000		
事業収益計		91,159,000	
5. その他収益		90,000	
経常収益計			93,379,000
II 経常費用			
1. 事業費			
給与手当	52,940,000		
法定福利費	6,911,000		
福利厚生費	770,000		
業務委託費	1,615,000		
研修費	105,000		
旅費交通費	380,000		
会議費	23,000		
行事費	110,000		
交際費	15,000		
貸借料	3,960,000		
水光熱費	3,848,000		
消耗品費	921,000		
食材費	2,900,000		
通信費	482,000		
車両費	895,000		
設備備品修繕費	320,000		
保険料	525,600		
諸会費	28,600		
支払手数料	45,000		
就労支援事業費	5,230,000		
リース料	1,114,000		
雑費	20,000		
減価償却費	5,530,000		
租税公課	8,000		
事業費計		88,696,200	
2. 管理費			
業務委託費	450,000		
研修費	60,000		
旅費交通費	100,000		
会議費	10,000		
行事費	40,000		
交際費	20,000		
賃借料	80,000		
消耗品費	230,000		
通信費	70,000		
諸会費	120,000		
支払手数料	10,000		
雑費	10,000		
支払利息	110,000		
租税公課	5,000		
管理費計		1,315,000	
経常費用計			90,011,200
当期正味財産増加額			3,367,800
前期繰越正味財産額			52,944,273
次期繰越正味財産額			56,312,073

今年度「その他の事業」は予定ありません。

事業別活動予算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

認定特定非営利活動法人ともに

(単位：円)

勘定科目	WS		GH		K.S.C Juntos	本部	法人全体
	運営事業	就労支援事業	運営事業	利用料会計			
I 経常収益							
受取会費					100,000	500,000	600,000
受取寄付金	20,000				10,000	1,500,000	1,530,000
受取助成金等							0
事業収益・自立支援費	33,900,000		39,000,000	13,064,000			85,964,000
事業収益・就労支援事業		5,070,000					5,070,000
事業収益・参加費負担金					35,000	90,000	125,000
その他収益	20,000	20,000				50,000	90,000
経常収益計	33,940,000	5,090,000	39,000,000	13,064,000	145,000	2,140,000	93,379,000
II 経常費用							
給与手当	23,600,000		29,340,000				52,940,000
法定福利費	3,341,000		3,570,000				6,911,000
福利厚生費	240,000		520,000		10,000		770,000
業務委託費	1,095,000		460,000	60,000		450,000	2,065,000
研修費	55,000		50,000			60,000	165,000
旅費交通費	220,000		160,000			100,000	480,000
会議費	13,000		10,000			10,000	33,000
行事費	30,000		30,000		50,000	40,000	150,000
交際費	5,000		10,000			20,000	35,000
貸借料	240,000			3,720,000		80,000	4,040,000
水光熱費	552,000		296,000	3,000,000			3,848,000
消耗品費	192,000		128,000	600,000	1,000	230,000	1,151,000
食材費				2,900,000			2,900,000
通信費	260,000		222,000			70,000	552,000
車両費	810,000		65,000		20,000		895,000
設備備品修繕費	120,000		180,000	20,000			320,000
保険料	250,000		170,000	80,000	25,600		525,600
諸会費	6,000		5,000	17,600		120,000	148,600
支払手数料	10,000		18,000	17,000		10,000	55,000
就労支援事業費		5,230,000					5,230,000
リース料	557,000		532,000	25,000			1,114,000
雑費	10,000		10,000			10,000	30,000
減価償却費	200,000		180,000	90,000		5,060,000	5,530,000
支払利息	4,000		4,000			110,000	118,000
租税公課						5,000	5,000
経常費用計	31,810,000	5,230,000	35,960,000	10,529,600	106,600	6,375,000	90,011,200
当期経常増減額	2,130,000	▲ 140,000	3,040,000	2,534,400	38,400	▲ 4,235,000	3,367,800
III 内部取引							
他部門振替収入 内部家賃						4,380,000	4,380,000
共通経費（給与・修繕積立金）	1,820,000						1,820,000
他部門振替支出 内部家賃	1,920,000		540,000	1,920,000			4,380,000
共通経費（給与・修繕積立金）			1,820,000				1,820,000
内部取引計	▲ 100,000	0	▲ 2,360,000	▲ 1,920,000	0	4,380,000	0
総支出額	31,910,000	5,230,000	38,320,000	12,449,600	106,600	1,995,000	90,011,200
当期正味財産増加額	2,030,000	▲ 140,000	680,000	614,400	38,400	145,000	3,367,800
前期繰越正味財産額	1,700,858	828,728	14,304,658	113,106	237,090	35,759,833	52,944,273
次期繰越財産額	3,730,858	688,728	14,984,658	727,506	275,490	35,904,833	56,312,073

第5号議案 各種規程の改定・制定に関する件

当法人の各種規程は法人設立以来部分的な改定をおこなってきたところであるが、設立から10年を超え、より現在の制度や状況に対応した規定の検討が必要となった。社会保険労務士法人に委託・検討のうえ次のように諸規程の改定および新規制定を行った。

	規程名	新規／改定
1	就業規則	改定
2	給与規程	改定
3	非常勤職員就業規則	新規
4	非常勤職員給与規程	新規
5	育児・介護休業等に関する規則	改定
6	車両管理規程	新規
7	個人情報保護規程	新規
8	健康情報取扱規程	新規

※それぞれの規程案については、別添の印刷物もしくはCD-Rのデータを参照のこと

※規程案は総会後に職員代表からの意見書とともに労働基準監督署に届け出る予定である

※「就業規則」と「給与規程」に関しては、改定前はグループホーム、ワークショップようていと別々に制定していたが、今回から法人全体に統一した